

Vol.106 QOM総研 「20代(当時)の仕事・恋愛・結婚」に関するアンケート調査

## ゆとり世代、4人に1人が「恋愛は面倒」、 2人に1人が「合コンに参加したことがない」

～失われた20年を経て、変わる20代の仕事・恋愛・結婚に対する価値観～

成婚率にこだわる婚活支援サービスを展開する株式会社パートナーエージェント(証券コード:東証マザーズ6181、本社:東京都品川区、代表取締役社長:佐藤茂、<https://www.p-a.jp/>、以下パートナーエージェント)は、20～29歳/40～49歳の男女1,960人に対して「20代(当時)の仕事・恋愛・結婚」に関するアンケート調査を実施いたしました。

### <調査背景>

「ゆとり世代」「さとり世代」と呼ばれる現在の20代は、バブル崩壊後のいわゆる「失われた20年」に育ち、サブプライムローン問題や、東日本大震災による「超就職氷河期」を経験してきました。「ゆとり世代」とはそもそも、ゆとり教育を受けた世代という意味ですが、生まれてから1度も好景気を経験したことがない世代として、現代の若者を特徴的に示す言葉として使われることがあります。

そんな時代に育った影響からか、現在の20代は上の世代に比べて、贅沢よりも自分自身にとっての心地よさ、地位や収入よりも安定した生活、プライドよりも合理性を求めるといった傾向があるとされています。

今回の調査では、現在の20代の仕事・恋愛・結婚に対する価値観と、現在40代の人たちが20代だった当時の価値観を比較しながら、両者の間にどのような違いがあるのかを調べてみました。

### <調査結果サマリ>

- ・「1ヶ月の交際費が1万円以上」、2人に1人だったのが3人に1人へと減少
- ・20代の4人に1人が「恋愛は面倒」、2人に1人が「合コンに参加したことがない」
- ・「結婚相手は自分から探すもの」24.8%、「婚活をしたことがある」24.6%
- ・優先するのは「趣味」「仕事」「睡眠」、しないのは「運動」「勉強」「恋愛」
- ・ゆとり世代ゆとり世代のイメージは「自分にも当てはまる」(49.5%)と思うが、「いい気分ではない」(40.0%)

## ■「1ヶ月の交際費が1万円以上」、2人に1人だったのが3人に1人へと減少

Q.あなたの状況について教えてください(n=1,960)※必須回答

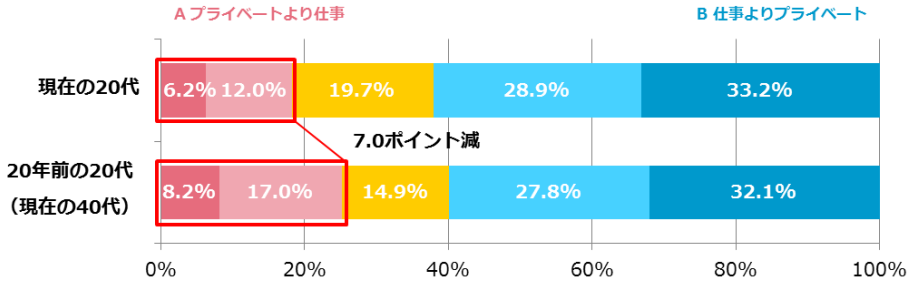
Q.あなたの考えについて教えてください(n=1,960)※必須回答

現在の20代と、現在40代の人たちが20代だった当時(以下、「20年前の20代」)の状況や考え方について、それぞれ調査した結果を比較してみました。

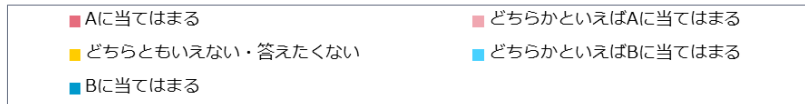
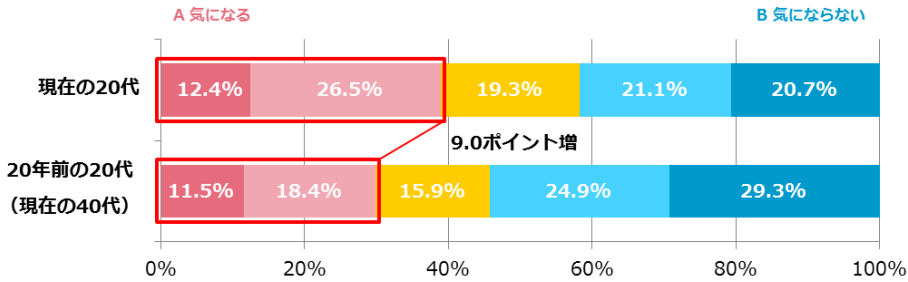
まずは仕事について、プライベートより仕事の方が大切かどうか尋ねたところ、「プライベートより仕事」と答えた「20年前の20代」が25.2%であったのに対し、「現在の20代」は18.2%と7.0ポイント減少していました。

また、他人の年収や役職が気になるかどうかについては、「気になる」と答えた「現在の20代」は38.9%。こちらは「20年前の20代」(29.9%)よりも9.0ポイント増加していました。

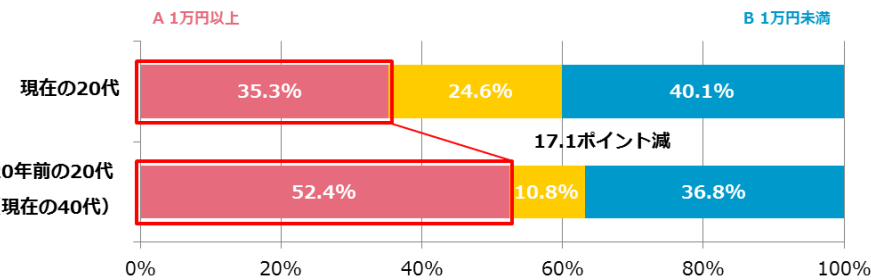
プライベートより仕事の方が大切 or 仕事よりプライベートの方が大切



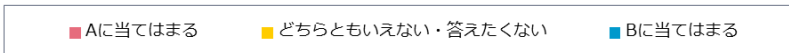
他人の年収や役職が気になる or 他人の年収や役職は気にならない



1ヶ月の交際費は1万円以上 or 1万円未満



1ヶ月の交際費についてはどうでしょうか。「20年前の20代」の52.4%が「1万円以上」あったと回答しているのに対し、現在の20代で「1万円以上」と回答したのは35.3%にとどまりました。



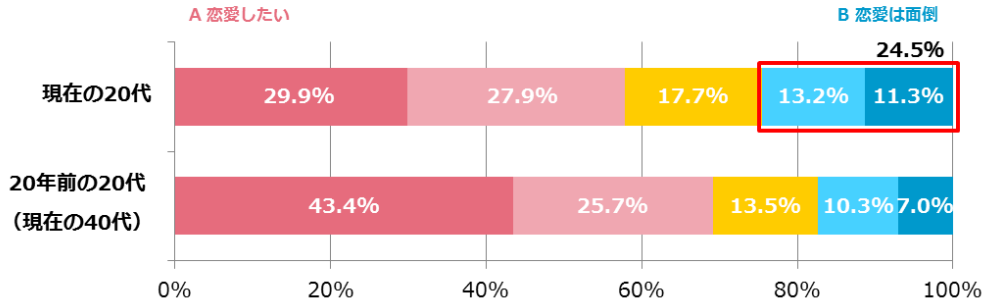
## ■20代の4人に1人が「恋愛は面倒」、2人に1人が「合コンに参加したことがない」

続いて、恋愛に関する価値観はどうでしょうか。

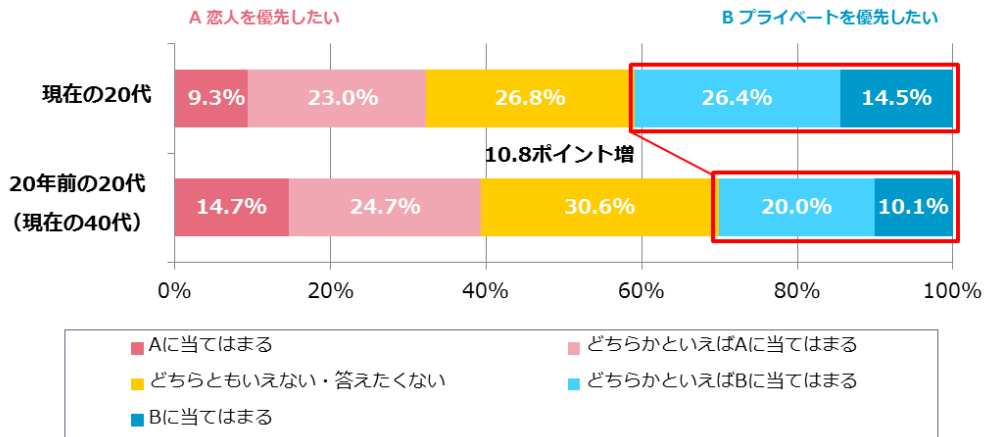
「恋愛は面倒」と回答した「現在の20代」は24.5%でした。

また、プライベートと恋人のどちらを優先したいか聞いてみたところ、プライベートを優先したいと答えた「現在の20代」は、「20年前の20代」と比較して10.8ポイント増の40.9%でした。

恋愛したい or 恋愛は面倒

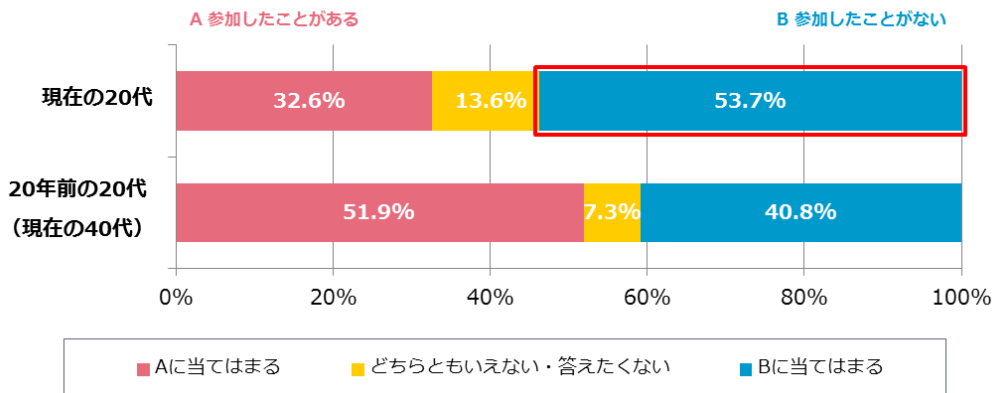


プライベートより恋人を優先したい or 恋人よりプライベートを優先したい



合コン参加経験については、「参加したことがない」と回答した「現在の20代」は53.7%でした。

合コンに 参加したことがある or 参加したことがない



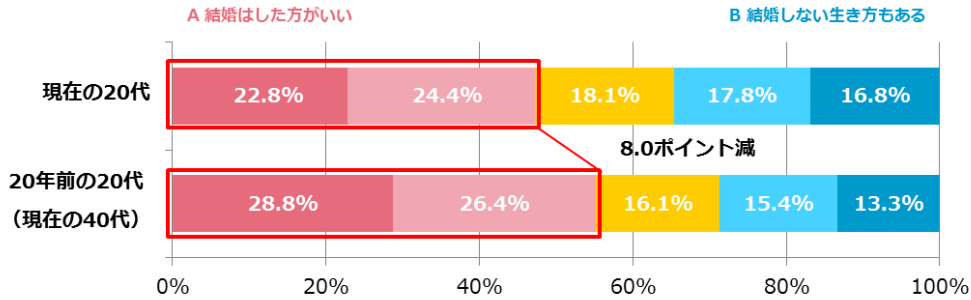
## ■「結婚相手は自分から探すもの」24.8%、「婚活をしたことがある」24.6%

さらに結婚観についてはどうでしょうか。

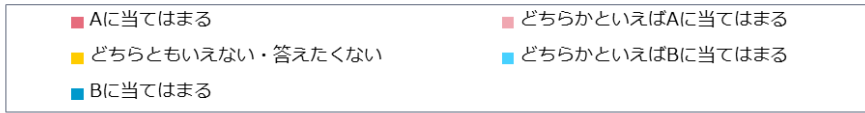
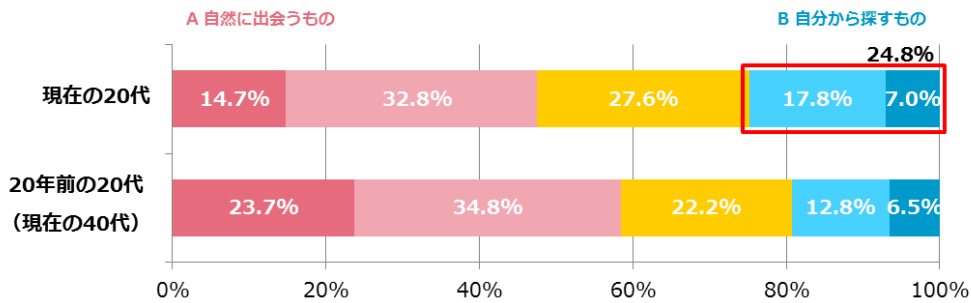
「結婚はした方がいい」と考えている「現在の20代」は、20年前に比べて8.0ポイント減の47.2%でした。

また、「現在の20代」の24.8%が結婚相手は自然に出会うよりも「自分から探すもの」と考えているようです。

結婚はした方がいい or 結婚しない生き方もある

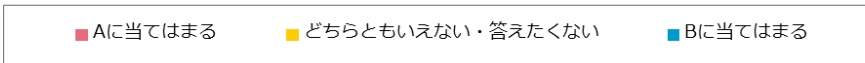
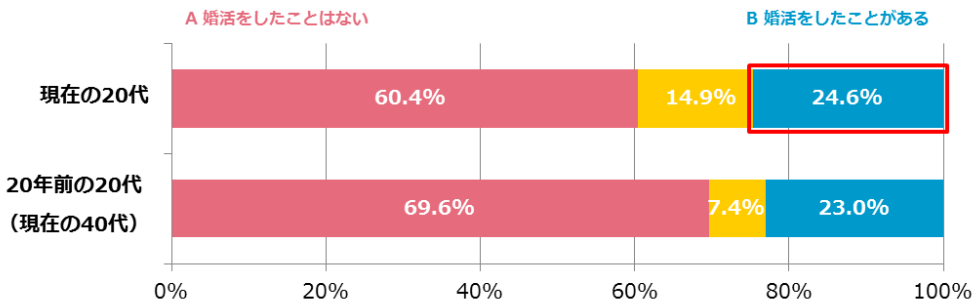


結婚相手とは 自然に出会うもの or 自分から探すもの



婚活経験については、「婚活をしたことがある」20代は24.6%でした。「結婚相手は自分から探すもの」(24.8%)という考え方が影響しているのかもしれませんが。

婚活をしたことはない or したことがある



## ■優先するのは「趣味」「仕事」「睡眠」、しないのは「運動」「勉強」「恋愛」

Q.日々の生活の中で優先しているもの上位3つは何ですか？(n=220)※必須回答・複数回答可

Q.日々の生活の中で優先していないもの上位3つは何ですか？(n=220)※必須回答・複数回答可

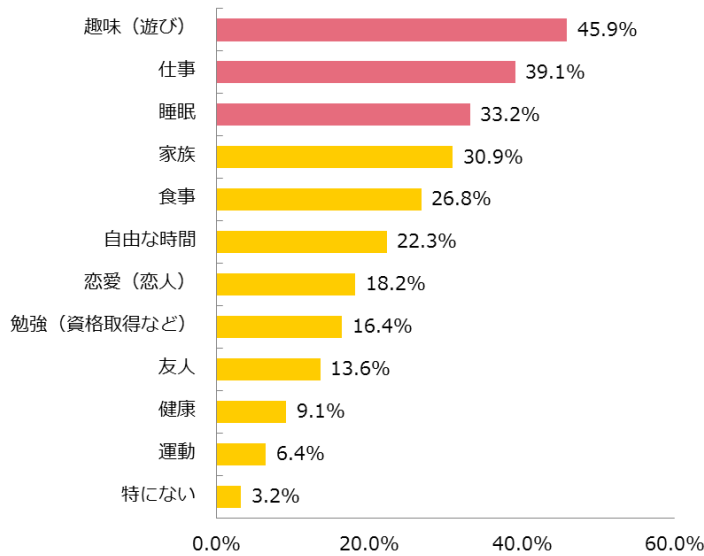
Q.あなたが選択した優先している3つのことについて、その理由を教えてください。(n=220)※必須回答

Q.あなたが選択した優先していない3つのことについて、その理由を教えてください。(n=220)※必須回答

「現在の20代」は日々、どんなことを優先して生活しているのでしょうか。優先しているもの、優先していないものの上位3つをそれぞれ答えてもらいました。

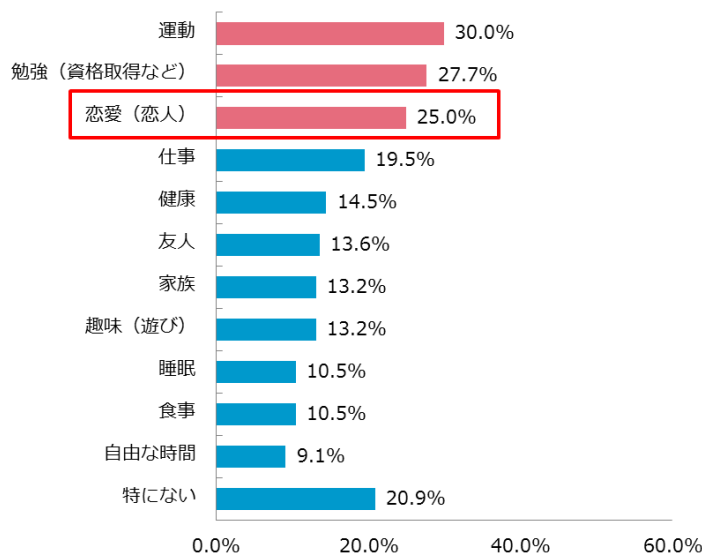
優先しているもの上位3つは「趣味(遊び)」(45.9%)、「仕事」(39.1%)、「睡眠」(33.2%)となりました。

日々の生活の中で優先しているもの上位3つ



優先していないものとしては「運動」(30.0%)、「勉強(資格取得など)」(27.7%)、「恋愛(恋人)」(25.0%)がトップ3となりました。特に、3位の「恋愛(恋人)」は「恋愛は面倒」と感じている傾向が表れた結果ではないでしょうか。

日々の生活の中で優先していないもの上位3つ



さらに、「優先している」または「優先していない」と答えたそれぞれの理由について、自由回答にて答えてもらいました。

**【優先する理由】**

仕事・趣味・睡眠

睡眠を取らなければ良い仕事はできないし、趣味を充実させるには仕事を頑張らないといけないから(29歳・女性)

趣味・睡眠・自由な時間

精神状態が乱れてしまうので(28歳・男性)

仕事・家族・健康

家族の為に仕事をし、家族の健康が優先だから(25歳・男性)

仕事・趣味・友人

遊ぶために仕事をするから(25歳・女性)

仕事・恋愛・家族

仕事も家族も恋人も、今後も長い付き合いとなるので大切にしたいと思っている(26歳・女性)

仕事・家族・睡眠

仕事は、優先したくなくても優先的になる(27歳・女性)

趣味・食事・睡眠

食事と睡眠は日々欠かせない大事なもので、趣味は自分の時間なので。(29歳・女性)

勉強・睡眠・自由な時間

周りより自分のことを大事にしたいから(24歳・女性)

**【優先しない理由】**

恋愛・家族・食事

恋人はいないし、家族と特に仲がいいわけでもないし、食事は小食だから(29歳・女性)

仕事・勉強・恋愛

幸福な人生に特別必要ないと思っているから(29歳・女性)

恋愛・食事・睡眠

重視しなくても楽しく生きていける時代だから(23歳・男性)

勉強・恋愛・家族

興味がないから(23歳・女性)

恋愛・運動・食事

積極的に行ってもいいことがない気がするから(24歳・女性)

仕事・運動

仕事はあくまでプライベートのために必要なお金を稼ぐ手段だから(24歳・女性)

恋愛・自由な時間

今は我慢(24歳・男性)

運動

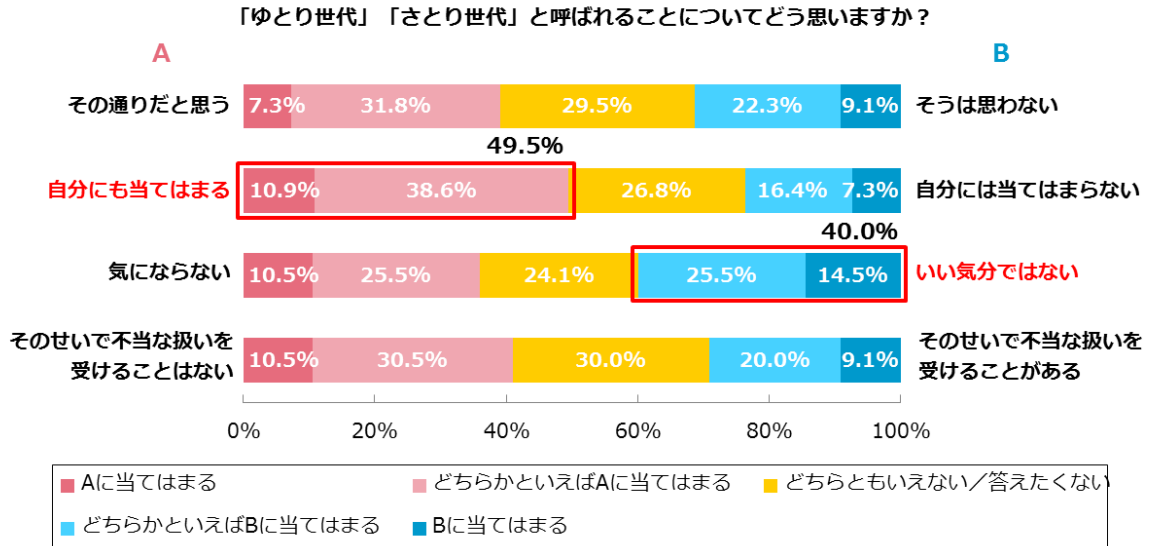
あまり好きでない。(28歳・男性)

## ■ゆとり世代のイメージは「自分にも当てはまる」(49.5%)と思うが、「いい気分ではない」(40.0%)

Q.「ゆとり世代」「さとり世代」と呼ばれることについてどう思いますか？(n=220)※ 必須回答

「ゆとり世代」「さとり世代」と呼ばれることについて、「現在の20代」はどのように感じているのでしょうか。  
 「自分にも当てはまる」、つまり自分たちが「ゆとり世代」「さとり世代」のイメージに当てはまっていると考えている人は49.5%でした。

ただし、そのことについて「いい気分ではない」と感じている人が40.0%いました。



時代の変化を受けて、同じ20代という時間を迎えていても、その価値観は時代によって違うということが分かりました。

婚活というと、従来は「なかなか結婚できない30代・40代がするもの」というイメージがありましたが、このところ婚活を始める20代が増加しています。

今回の調査結果を見る限り、「自然に出会って恋愛をした相手と結婚する」という考え方も、当てはまらなくなってきました。近いうちに「結婚相手は自分から探しに行く」ことが当たり前の時代がやってくるのかもしれませんが。

調査方法: インターネット調査  
 調査対象: 20~29歳、40~49歳男女 1,960名  
 集計期間: 2018年1月4~8日

※各項目の数値は四捨五入しているため、各項目の合計が100%を超えているケースもございます。



## 【株式会社パートナーエージェント 会社概要】

商 号: 株式会社パートナーエージェント

証券コード: 東証マザーズ6181

代 表 者: 代表取締役社長 佐藤 茂

創 業: 2006年9月

所 在 地: 東京都品川区大崎1丁目20-3 イマス大崎ビル4階

U R L : パートナーエージェント <https://www.p-a.jp/>

- 事業内容 :
1. 結婚相手の紹介、相談
  2. 交際、結婚に関する調査研究
  3. イベント、旅行の企画・運営
  4. 生命保険、損害保険代理店
  5. 挙式、披露宴の企画・斡旋
  6. カウンセリング、各種セミナー運営
  7. 会員誌、その他出版
  8. Webサイト、Webコミュニティの企画・運営
  9. 託児所及び保育所の経営、事務所内外の保育の受託業務



**顧客満足度 No.1**  
2017年 結婚相談所

※2017年 オリコン顧客満足度調査において



**成婚率 No.1**

※株式会社ネオマーケティング調べ



～代表メッセージ～

現代は、結婚しにくい時代と言われています。

仲人やお見合いなどの社会的な出会いの場が減少し、結婚をしたくても機会に恵まれない多くの独身者がいます。

当社は、もっと信頼できる結婚情報サービスを目指して設立されました。

従来 of 結婚相談のサービスを見直し、結婚を望む顧客へ高い成果を提供することで多くのお客様の支持をいただけてきました。

これからも、1年以内の結婚を支援するエージェントとして未婚・晩婚を解決する社会の実現へ貢献してまいります。

※株式会社ネオマーケティング調べ

・調査対象企業

1) デスクリサーチで国内に同一資本、11店舗以上以上構える結婚相談所7社を抽出

2) インターネットリサーチで登録・在籍率上位5社を抽出(サンプル数が一定数以上回収できた企業)

・調査回答者 全国の20歳～59歳男女、2013年1月以降に調査対象企業の結婚相談所に登録・在籍していた経験がある人 1,062人

・調査手法 デスクリサーチ及びインターネットリサーチ

・調査実施期間 2017年7月26日(水)～7月31日(月)

・成婚率の定義 本調査において2013年以降の登録者数内の成婚退会者数比率

### 【転載・引用に関する注意事項】

本アンケートの著作権は、株式会社パートナーエージェントが保有します。調査レポートの内容についてはご自由に転載・引用いただいて構いませんが、引用・転載時には、必ず「婚活支援サービスパートナーエージェント」を明記いただけますようお願い申し上げます。また、パートナーエージェントのWebサイト(<https://www.p-a.jp/>)へのリンクも貼っていただけますと幸いです。

※記事などで取り上げていただけた際は、お時間ございましたらmegumi-hirata@p-a.jp宛てにご一報いただけると幸甚に存じます。

＜本件に関する報道関係者からのお問合せ先＞

株式会社パートナーエージェント 広報担当: 平田

TEL: 03-6388-9831(部署直通) FAX: 03-5759-2701

Mobile: 080-4575-7766(担当者直通) Mail: megumi-hirata@p-a.jp